

6か月 ～ 1歳3か月未満児 ☆ 食 育 計 画

目 標 (保育課程から)

- ①お腹がすくリズムが持てる子どもに
- ②食べたいもの、好きなものが増える子どもに

市で行なわれる事業 8か月健診(内科)

大和市公立保育園

	子どもの姿 (ねらい)	内 容	配慮事項
★食と健康	①お腹がすき、乳を吸い、離乳食を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ②いろいろな食べものを見る、触る、味わう経験を通して自分で進んで食べようとする	* よく遊び、よく眠り、満足するまで乳を吸う * お腹がすいたら、泣く、または、なん語によって、乳や食べものを催促する * 食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭き、きれいになった快さを感じる	・一人一人の子どもの安定した生活リズムを大切に、食欲を育 ・個々の子どもの発育、発達状態を把握し、家庭と連携し、個人差に配慮する ・子どもの咀嚼や嚥下機能の発達に応じて、食品の種類、量、大きさ、固さなどの調理形態に配慮する(※保育の手引き「離乳食のすすめ方」参照)
★食と健康人間関係		* ゆったりとした雰囲気の中で、食べさせてくれる人に関心を持つ	・食欲と人間関係が密接な関係にあることを踏まえ、愛情豊かな特定の大人との継続的で応答的な授乳中のかかわりが、子どもの人間への信頼、愛情の基盤となるよう配慮する
★食と文化		* いろいろな食べものに関心を持ち、自分で進んで食べ物を持って食べようとする * あいさつをしてたべる	・いろいろな食べものに接して楽しむ機会を持ち、食欲を育むよう配慮する ・きゅうり、人参スティックなど手で持てるものを準備する ・食べる姿勢を整える ・大人があいさつをしてみせる
★いのちの育ちと食		* 旬の食材に触れる * 行事食を通して年間の行事や食文化にふれる	・収穫したものや、料理に使う食材にふれる ・行事食を食べ、楽しむ
★料理と食			
家庭への働きかけ		●授乳、食事のリズムを整えることの大切さを伝える ●離乳食の進め方を一緒に考える	
自己評価			